

母の日

あらゆる世代の人々が“母”への日頃の感謝の気持ちを表す「母の日」。日本では5月の第2日曜日、2024年は5月12日が母の日です。

母の日の起源

一説によると、アメリカの一人の少女の母親に対する愛情が「母の日」誕生のきっかけとされています。少女の名はアンナといい、母を慕い、母が好きな花であるカーネーションが咲く庭の手入れをよく手伝っていました。

1905年、アンナの母が亡くなると、アンナはウェストバージニアの教会の牧師に母を偲んで説教をするようお願いしました。その日曜日、フィラデルフィアでも教会の牧師が特別にアンナの母、及び、世の中のすべての母親を称えたそうです。

この出来事をうけ、アンナは国會議員に「母の日」の設立を要求し、1910年にはウェストバージニア州で5月の第2日曜日が母の日として宣言されました。

そして、1年後にはアメリカのすべての州で母の日を祝うようになり、1914年、当時のウィルソン大統領が国として「母の日」を宣言しました。

出典：https://americanenglish.state.gov/files/ae/resource_files/mothersday-and-fathersday.pdf



海外の母の日

母の日はアメリカや日本だけでなく、世界各国にあります。袋井市の外国人住民の国籍の多くを占めるブラジルをはじめ、中国やオーストラリア、フィンランド、トルコなども日本と同じく5月の第2日曜日が母の日です。



一方で、タイやフランス、エジプトなどは、日本とは異なる日を母の日としており、ベトナムでは、母の日でなく、女性の日が定められているそうです。

国によっては時期も名前も異なりますが、どの国もお花、プレゼント、メッセージカードを贈ったり、レストランに連れて行ったりするなど、母への日頃の感謝の気持ちを表すという点では、日本と全く違いはありません。